



リニューアルされた本丸御殿を視察

日頃のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。
東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から7ヶ月余、再建復興への歩みが進む一方、いまだに被災者の多くが今後の生活の見通しが持てないでいます。国の対策が遅れるなか、放射能の子どもの影響を心配する親たち、農業者や

みなさんの声を市政に

日本共産党議員団はこの間、被災地支援ボランティアや救済募金に取り組みとともに、市政こんだん会を開催してみなさんの要求をお聞きし、さまざまな生活相談活動などに取り組んできました。
これらの活動を通じて出された要求をもとに、9月市議会では4人の議員団が「放射能汚染から市民のいのちと健康を守る取り組み」「震災に強いまちづくりを」「人間らしく働ける雇用を」「学校施設の大規模改造を」などの表題を掲げて一般質問し、建設的な提案でみなさんの声を市

生活相談
日時：毎週火・水・金
9時30分～12時
場所：川越市役所6階
日本共産党議員団控室
相談の際は事前にご連絡下さい。
TEL：049-224-8811
内線3636

と一緒に川越市のことについて考え懇談しましょう！



写真は8月に行われた懇談会の様子

日本共産党議員団は8月28日、やまぎき会館会議室で、市民の幅広い声、市政や地域の要望を直接聞くために市政こんだん会を開催しました。多く出されたのは、介護保険と西口ふれあい拠点施設についての質問でした。その他にも雇用、教科書問題、団体補助金削減について、交通問題などが出されました。11月の市政こんだん会にぜひお越し下さい。

市議会報告 2011年9月

発行 日本共産党川越市議会議員団
連絡先 川越市役所内 日本共産党控室
049-224-8811 (内線3636)

日本共産党議員団

市民の願い実現へ建設的に提案

子どもたちが喜ぶ、複合遊具の設置拡充を



この 英子

朝夕すっかり涼しくなり、冬に向かっていますが、お元気で運動会やお祭りなど行事を楽しんでいます。私は、子どもたちと一緒に動物園に行き、キリンやコアラなどたくさん動物を見ながら、秋を感じています。砂新田にあるオレンジ公園(通称)では、昨年、新たに複合遊具が設置されました。遠方からも車などで、遊びに来られています。私は、一般質問を行い、こうした、子ども連れで遊びに来る利用者や障がいのある方のため、また公園の魅力アップのために、親子で入れる子ども用トイレがある多機能トイレの設置を進めるべきではないかと求めました。



オレンジ公園の複合遊具

くり向
け努力
すると
答弁し
ました。

市は、複合遊具などの大型遊具は、社会資本整備総合交付金の「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」を活用して対応していく予定。地域毎の遊具状況も考慮しつつ、安全確保を第一に順次改修、更新を進めていきたいと答弁しました。
市長の見解は？
私は、公園の充実が子どもたちの健康と想像力など感性が豊かになり、身体と共に心の成長・発達にも大きな影響を与えていると思います。想像力を育むような、遊び心を加え、公園の遊具等を充実し魅力ある公園づくりが必要だと思いが、市長の見解を伺いました。
市長は、屋外で活発に遊ぶことは、健全な心身の育成には欠かせない、重要なことであると考えている。特色ある遊具等を設置するなど、魅力ある公園づくりが、市長の見解を伺いました。

市民のみなさんと力を合わせて実現



(県産材使用)
ウッドデッキも設置。子ども達が使いやすいように手洗い場やトイレも改修されます。

雇用創出を積極的に
平成21年度から緊急雇用創出基金事業として23年度までに39事業が実施され、総額2億8430万円、新規雇用者数は263名の見込みです。
これまで日本共産党議員団の提案で緊急雇用創出基金事業を活用し、雇用を増やすよう求めてきました。9月補正予算で20事業、総額1億7270万円、新規雇用者数126名を予定しています。広報紙電子化や交通量調査などの業務をおこないます。
こどもの城を改修中
11月26日新装オープン
こどもの城が29年目を迎える老朽化。市民からはもっと魅力的な児童館にしてほしいと声が寄せられ、昨年12月議会の一般質問で取り上げました。その後、ランチタイムを設けお弁当等を食べられるようになりました。現在、改修が行われ、11月26日予定で新装オープンします。壁、床などで一部木質化。

学校給食の産地を公表



9月議会の一般質問で求めていた、学校給食の調査・産地公表、きめこまかな放射能測定の要請に対して、市は10月から小中学校、公立保育園給食で使われる食材の産地公表をはじめました。学校給食については市ホームページでも確認できます。
また、10月11日からは市内にある全学校・全保育園、大規模な都市公園、ごみゼロ運動で自治会が清掃している道路側溝などの放射線測定を行い、市民の不安にこたえたと発表しました。

太陽光発電設置補助の予算を300件分追加

年度当初に300件分(2625万円)で行われていた太陽光発電システムの設置補助が、原発の事故による計画停電などによる不安などもあり6月早々に使い切ってしまった。6月議会で党議員団が原発から自然エネルギーへの転換を求め、増額を求めたところ9月の補正予算で当初予算と同額の300件分が計上されました。